

経営比較分析表（平成30年度決算）

徳島県 那賀町

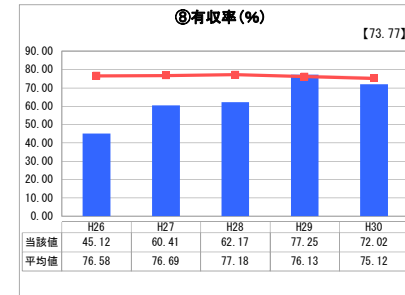
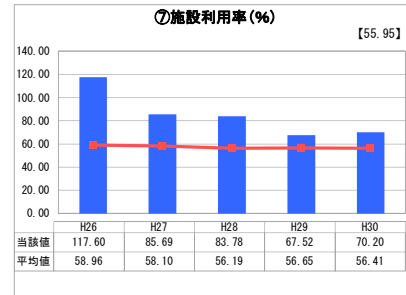
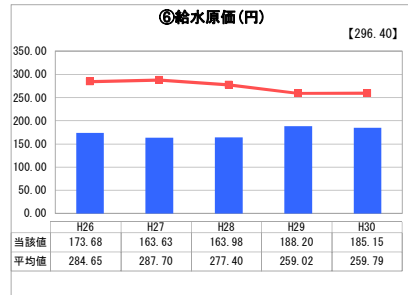
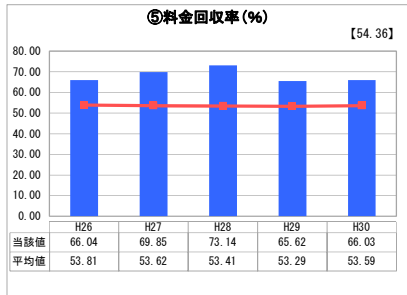
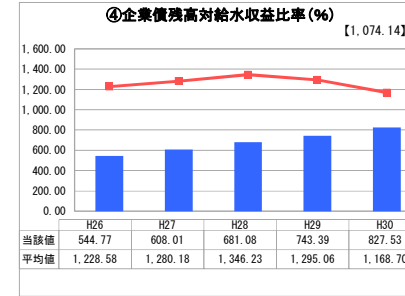
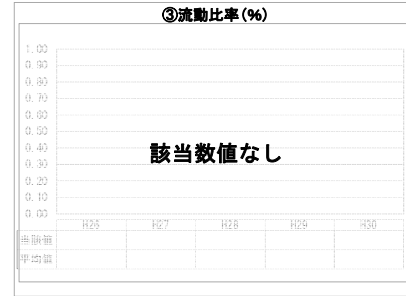
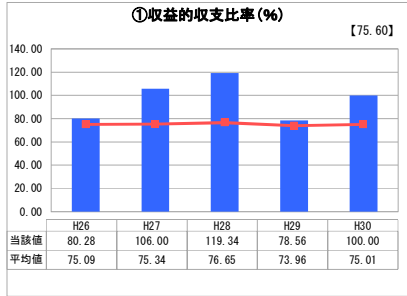
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	70.35	2,160	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,415	694.98	12.11
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
5,848	24.17	241.95

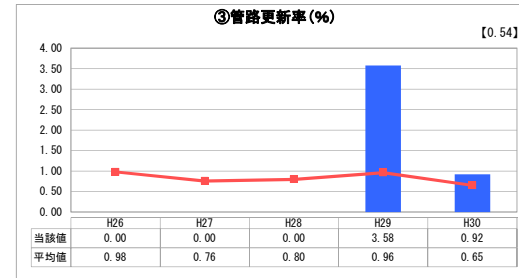
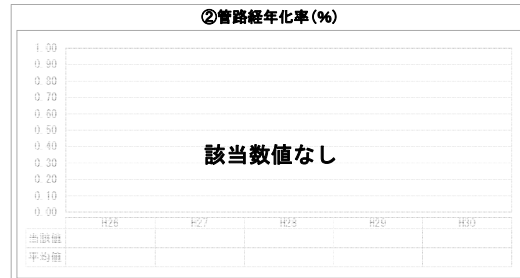
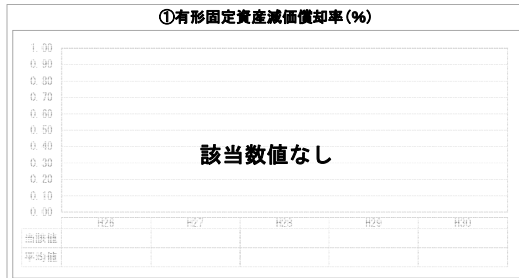
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は100%となつてはいるが、繰入金による収入に依存している状態であり、今後老朽化した施設の更新が予想されるため、その財源確保に努め無駄な支出をせず効率的な運営を行う。また、料金統一や増額等を検討して収入の確保を計画し経営の健全化を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

施設の老朽化が進んでおり、更新が必要な管路や施設が多々あるため工事経費の増加が予想される。一部の施設では更新工事に着手しているが、殆どが未着手であるため、今後施設全体の更新計画を作成し計画的に更新を行わなければならない。

全体総括

本町は過疎化が進み人口の減少が著しく、水道料金の収入も年々少なくなっている。また、施設数も19施設ありその殆どが老朽化しているため、漏水や機械の故障等で修理費も多くなっている。今後施設の更新が必要となるため経営の健全化に努める。そのためにも、料金統一や増額なども検討し収入の確保を計画する必要がある。